

縦糸の巻き方②

織物の長さが15cm以上の場合



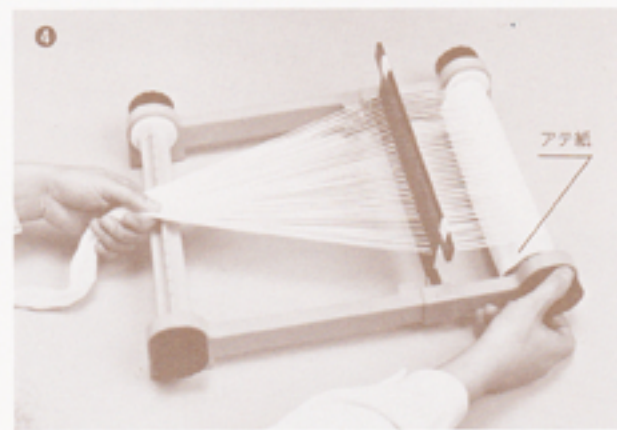
①糸巻き棒、布巻き棒共15個の糸カケを使用するので上に向けて固定する。そして、縦糸をくずさないように1本ずつ抜き取り、5本ずつ束ねて結び目を作り糸巻き棒の糸カケにかける。そして綜統の深いミゾと、浅いミゾへ1本ずつ通す。



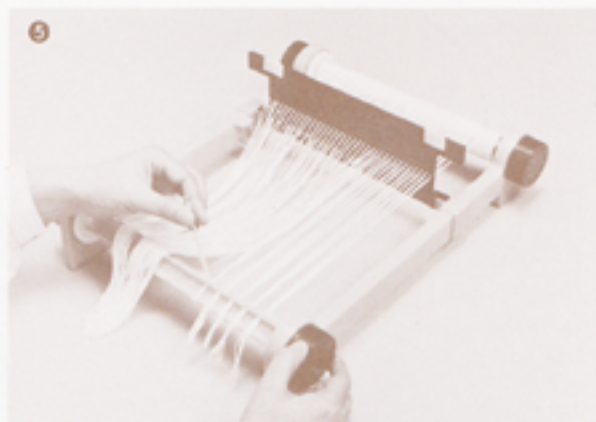
②全部の縦糸を通し終われば、糸巻き棒の両方の糸カケに糸巻きキャップをはめる。綜統⑤を、綜統⑥にさしこみロックする。



③糸巻き棒のギヤーの付いているネジをゆるめ、左手で縦糸をまとめて握り、たるんだ糸がないように直しながら、右手で糸巻き棒ネジ（ギヤーのない方）を持ち、外側（右巻き）に2回転ほど巻き取る。



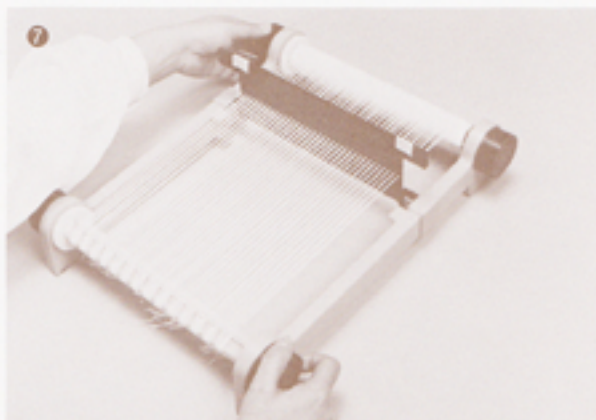
④2回転ほど巻き取ったところで、先に巻いた縦糸の山に次の縦糸がはまりこまないようアテ紙を入れる。そして又、巻き取っていく。



⑤縦糸の端を布巻き棒から12~13cmほど余して、糸巻き棒のネジを締める。余した縦糸は、5本ずつ束ねて布巻き棒の糸カケに一周巻き取る。



⑥全部の縦糸が掛終われば、布巻き棒の両方の糸カケに糸巻きキャップをはめる。縦糸の張りが平均しているかを、手のひらで確かめゆるんでいる糸があれば、糸の端を引張って直す。



⑦5本ずつ束になっている縦糸の間隔を、きれいにそろえるために、布巻き棒へ半回転だけまきもどします。そして縦糸をピンと強く張ってネジをしっかりと締める。

横糸の巻き方

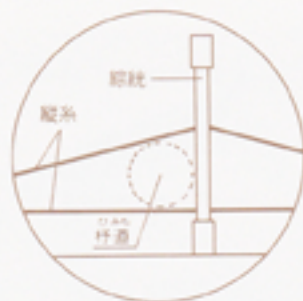


①杆の先端に横糸の端を8の字に2回巻きつけ、立てにグルグル巻く。
横糸を2色使う時は、杆が2本、3色使う時は3本の杆が必要です。

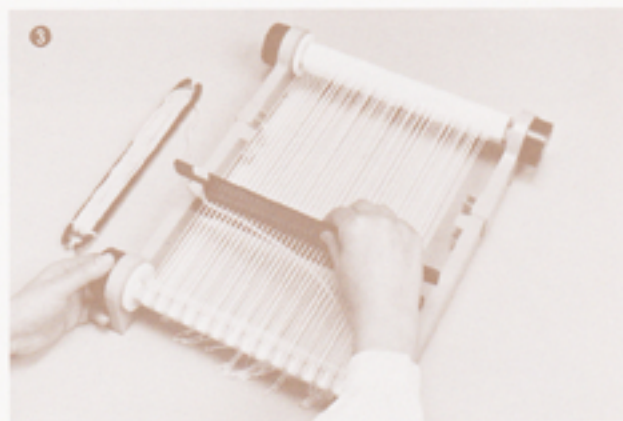
織り方



- ① 綜統を綜統台の上に立てると、縦糸が上下に分かれる。この分かれた所を、杼道と言います。
この杼道に横糸を巻いた杼を右から左へ通す。



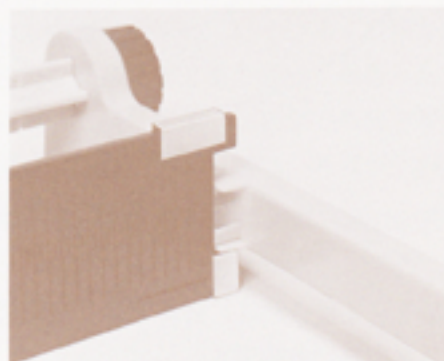
- ② 横糸の端を10cmほど残して、指先で横糸の左右をつまんで張る。この時の横糸の角度は40°ぐらいになるよう斜めに張ること、これは横糸にゆるみをあたえて、織り上りをきれいにするためです。



- ③ 右手で綜統を持ち、今通した横糸を手前へ引き寄せる。

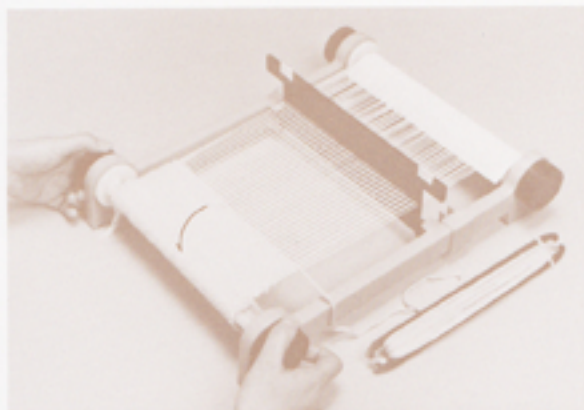


- ④ 次に綜統を綜統台の下まで押し下げ、下の綜統台に引っ掛けると、杼道ができる。その杼道に左側にある杼を左から右へ通し斜めに張り、そして綜統で手前に引き寄せる。この動作を繰り返して、織り進める。



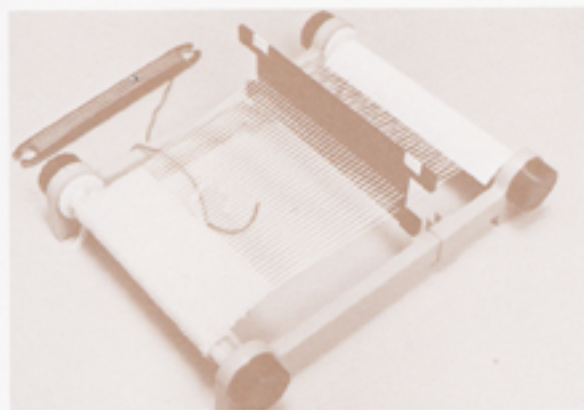
(綜統)を(綜統台)の下にあてる

織った布を巻き取る時



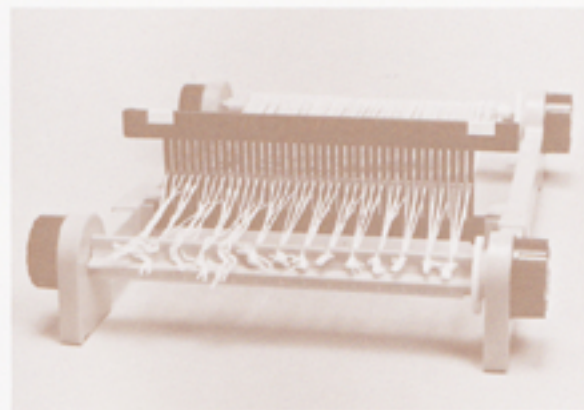
織りが進むにつれて杼道が小さくなります。この時は、糸巻き棒と、布巻き棒のギヤーの付いている2つのネジをゆるめ、手前の布巻き棒に織れた布を巻き取る。

横糸を代える時

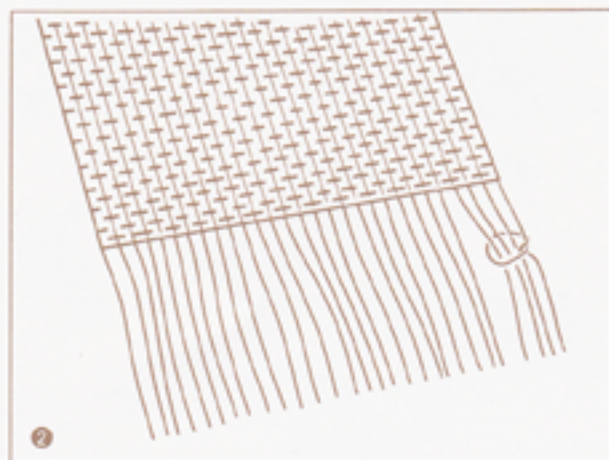


杼に巻いた横糸がなくなった時や、横糸の色を代える時は、横糸を縦糸の途中から上に出して、少し余らせておく。次に新しい横糸を縦糸3本ほど手前から入れて織り進める。(縦糸3本分だけ横糸が2本入る。) 2cmほど織った後、上に出ている2本の横糸を切り取る。

織り終り



①横糸は、縦糸の途中から上に出す。縦糸は、糸巻き棒からはずして、結び目をほどいて綜統をはずす。



②縦糸を3～5本ずつ束ねて、結び房を作る。
布巻き棒の縦糸もほどこいて房を作る。



③房の結び方は、図のような方法がある。
織物に合う結び方を選んで下さい。
房は、きれいにそろえてハサミで切りそろえて下さい。

縦糸の作り方



例えばテーブルの端や引出しにくるくる巻きつけて、1ヶ所をハサミで切って下さい。

糸がバラバラにならないよう気をつけること。

一度にたくさんの糸を巻きつけると、糸の長さが変わったり、もつれる場合がありますので、20～30本くらいが適当です。

縦糸の長さは、織りたい長さの+30cmの長さが必要です。



必要な縦糸の本数を必要な長さに整えることを整経と言います。本格的な機織では、整経台というものがりますが、お手持ちの糸で縦糸を作るには、身近なものを利用して簡単に作れます。例えばテーブルの端を利用したり、引出しを使うことによって、縦糸の本数や長さがお望みどおりに作れます。